

2022年度 探鉱技術委員会活動方針

委員会および分科会の活動を通じ、探鉱部門に係わる技術の普及と向上に努める。

● 運営委員会の開催 (年6回)

- 総会 2回 (7月、1月)
- 運営委員会 (9月、11月、3月、5月)
運営委員: 委員長、副委員長、事務局、分科会座長、幹事会担当委員、
委員関連活動担当委員 + 有志
- 春季講演会地質・探鉱シンポジウムの企画と実施、特集号の発行
- 特別見学会の開催
- 分科会活動との連絡・意見交換
- 大学との交流活動

● 委員会の専門活動・日常活動としての分科会活動の実施

- 砂岩分科会 (座長: 江川・渡部)
- 炭酸塩岩分科会 (座長: 南條・橋本)
- 物探分科会 (座長: 榎谷・新部)
- 探鉱新技術分科会 (座長: 佐藤・森田)

● 関連学会・協会活動・その他、関連した事業活動への協力

- 幹事会連絡 (担当: 中西 (弘)・松島)
- 特別見学会 (担当: 河合・河野)
- 用語解説 (担当: 河合)
- 会誌編集委員会 (担当: 橋本)
- 協会賞選考委員 (江川・中村・松島)
- ホームページ委員 (担当: 石本・野口)
- 日本地球惑星科学連合 (担当: 戸丸・真田)

2022 年度 探鉱技術委員会分科会活動方針

● 砂岩分科会（座長：江川浩輔氏・渡部哲子氏）

- 年 2-3 回程度の分科会を開催し、砂岩貯留岩の分布や性状、探鉱・開発関連のケーススタディなどの話題を会員・非会員から広く募り、最新の技術動向を共有するとともに、会員（特に若手）の育成に繋がるような交流機会の創出に努める。

● 炭酸塩岩分科会（座長：橋本直明氏・南條貴志氏）

- 年 3 回程度の分科会を開催し、炭酸塩岩一般から貯留層特性、探鉱開発ケーススタディ等、広く炭酸塩岩に関する話題を提供し、委員を中心とした参加者との情報交換、相互交流を計る。

● 物探分科会（座長：榎谷将吾氏・新部貴夫氏）

- オンラインでの開催を想定して年 2 回程度の分科会を開催し、ケーススタディの紹介や物理探査技術上の課題・情報を通じて共通する問題への理解を深め、関連する分野の最新の技術動向を議論する。
- テーマは、各種物理探査データ取得・処理法、総合解釈技術、岩石物性、坑井内・坑井間地震探査、四次元物理探査等のモニタリング技術、油層構造物理探査、デジタル技術等の物理探査周辺技術など。

● 探鉱新技術分科会（座長：佐藤雅紀氏・森田澄人氏）

- 新しい石油探鉱技術を紹介・検討することを目的とする
- 既存の分科会（物探・砂岩・炭酸塩岩）の枠組に入らない分野、あるいは複数にまたがる分野を対象とする。例えば、地化学・テクトニクス・検層技術・地質統計学・分析技術など。
- これらを専門とする研究者あるいは実際に応用している技術者を招いて、話題提供、議論を行う。年 2-3 回、原則公開で開催する。